

第 1 問

解答

A

問 1  ①

問 2  ④

問 3  ⑥

B

問 4  ④

問 5  ②

問 6  ②

C

問 7  ③

問 8  ①

問 9  ⑥

## 解説

A

問 1 

正解は①。資料 1 の李斯の発言から、封建制によって諸侯が互いに疎遠となったことが周における戦乱の原因であると主張していることが読み取れる。

問 2 

正解は④。

空欄  に当てはまるのは司馬炎。司馬炎は魏の皇帝の禅譲を受けて帝位につき、晋（西晋）を建てた。

資料 3 で説明されている争乱は八王の乱。八王の乱は西晋のときに勃発した争乱であり、司馬氏一族の 8 人の王が権力をめぐって争った。

したがって、アが司馬炎、争乱の名が八王の乱となって④が解答となる。

問 3 

正解は⑥。

先例として挙げた争乱は「う」の呉楚七国の乱。呉楚七国の乱は前漢に起こった諸王の反乱で、諸王に対する抑圧が原因であった。

一族に対する分権の弊害が現れた出来事は Y。明の建文帝が諸王の権力を抑圧すると、燕王が反乱を起こして帝位を奪取し、永楽帝として即位する靖難の役が起こった。

したがって、う-Y の組み合わせが正しく、⑥が解答となる。

B

問 4 

正解は④。

空欄  に当てはまるのは神聖ローマ帝国の初代皇帝オットー1 世。オットー1 世はレヒフェルトの戦いでマジャール人を撃退した。

なお、①はピピン（小ピピン）、②はカール大帝（シャルルマーニュ）に関する記述である。

問 5 

正解は②。

下線部⑥の人物は「あ」のウィリアム。文章から下線部⑥の人物（ノルマンディー公）はイングランドを征服したことが読み取れる。ノルマンディー公ウィリアムは 1066 年にハロルド 2 世を破ってイングランドを征服した。

資料から読み取れるのは Y。資料 2 には「エドワードが彼に与えた王国を譲らなかった、ハロルドもそのことを認めて宣誓していたにもかかわらず、である」と記されている。

したがって、あ-Y の組み合わせが正しく、②が解答となる。

問 6

正解は②。イングランドは、羊毛（原羊毛）を毛織物の生産が盛んなフランドル地方に輸出した。

①は誤文。エリザベス 1 世は生涯独身だった。

③は誤文。ジョン王と争ったのはフィリップ 2 世である。

④は誤文。イギリス=オランダ（英蘭）戦争の原因となったのは、航海法である。

C

問 7

正解は③の c。文章から、ヴィルヘルム 2 世の治世下で養老保険（老齢年金制度）が成立したことが読み取れる。ヴィルヘルム 2 世の即位した年（1888 年）が分からなくとも、ビスマルクが養老保険を含む社会保険制度を整えたことを踏まえれば、少なくともドイツ帝国成立（1871 年）からビスマルクの辞職（1890 年）までの出来事であることがわかる。

なお、文章から、イギリスで老齢年金法が成立した 1908 年よりも前にドイツで同制度が導入されたことが読み取れる。d が不正解であることは、このことから分かる。

問 8

正解は①。文章から、年金制度を導入したのはグラッドストーンが所属した自由党であると推測できるので、自由党について述べた文を選べば良い。自由党のグラッドストーンはアイルランド自治法案を提出したが、自由党内部からも反発が出たため、この法案は成立しなかった。

②は誤文。第 1 次マクドナルド内閣のときに自由党と連立政権を成立させたマクドナルドは、保守党ではなく労働党の党首であった。

③は誤文。スエズ運河会社の株を買収したのは、保守党のディズレーリ政権である。

④は誤文。フェビアン協会を基盤の 1 つとして結成されたのは労働代表委員会であり、これが後の労働党となった。

問 9

正解は⑥。

首相は「い」のサッチャー。文章・資料からこの首相が新自由主義改革を推進したことが推測できる。サッチャーは自己責任を強調する新自由主義を掲げ、国営企業の民営化などを進めた。

改革の内容は Z。サッチャーは新自由主義に基づく「小さな政府」を目指し、社会保障費を削減して財政規模を縮小しようとした。

したがって、い-Z の組み合わせが正しく、⑥が解答となる。

第 2 問

解答

A

問 1  ②

問 2  ③

B

問 3  ④

問 4  ②または④

問 5   で②を選んだ場合は①, ④を選んだ場合は⑤

C

問 6  ②

問 7  ④

問 8  ⑤

## 解説

A

問 1 

正解は②。資料 2 から、アレクサンドロス大王による征服後、現地の子供がアテネの悲劇詩人ソフォクレスやエウリピデスの作品を学習したことがわかる。

①は誤文。バビロン捕囚を行った新バビロニア（カルデア）はアレクサンドロス大王ではなく、アケメネス（アカイメネス）朝に滅ぼされている。なお、アレクサンドロス大王はアケメネス朝を滅ぼしている。

③は誤文。アレクサンドロス大王の時代から約 150 年前に起きた戦争はペルシア戦争である。

④は誤文。デロス同盟はアテネを盟主とする同盟である。

問 2 

正解は③。

「あ」は誤文。マニ教が成立したのは 3 世紀のことで、このときローマは帝政期である。

「い」は正文。帝国主義時代には、植民地支配を正当化する論拠として「文明化の使命」論が唱えられ、植民地の先住民は開発によってより良い生活を享受できると主張された。

したがって、あー誤、いー正の組み合わせが正しく、③が解答となる。

B

問 3 

正解は④。

国の名はフランス。アメリカ合衆国は、フランスのナポレオンからミシシッピ川以西のルイジアナを買収した。

空欄  に当てはまるのはミズーリ。ミズーリ州はミズーリ協定によって奴隷州となったので、奴隷制度の存続が認められた。

したがって、国の名ーフランス、アーミズーリが正しい組み合わせなので、④が解答となる。

問 4 

正解は②または④。

「あ」の強制移住法の背景となったのは Y。西部出身のジャクソンは、大統領に就任すると先住民強制移住法を制定し、先住民をミシシッピ川以西に強制的に移住させた。

「い」のカンザス・ネブラスカ法（カンザス＝ネブラスカ法）を制定する理由となったのは X。カンザス・ネブラスカ法制定以前には北緯 36 度 30 分以上に奴隷州を作らないミズーリ協定が結ばれ

ていたが、カンザス・ネブラスカ法はこの協定を否定し、奴隷州になるか否かを住民投票で決定すると定めた。

問 5

で②を選んだ場合は①，④を選んだ場合は⑤。

先住民強制移住法について、チェロキー族は移住の最中に病気と飢えで多数の犠牲者を出した。このため、この先住民の悲惨な移住を指して「涙の旅路」と呼ぶ。

カンザス・ネブラスカ法について、同法の成立に反発した北部を中心とする勢力は共和党を結成して奴隷制に反対した。

C

問 6

正解は②。

空欄  に当てはまるのは国連軍。資料から空欄  には朝鮮戦争で朝鮮民主主義人民共和国と戦っている勢力が当てはまることが読み取れる。朝鮮戦争において、国連軍は安全保障理事会の決議に基づいて韓国側で参戦した。

空欄  に当てはまるのは人民義勇軍。文章より空欄  は中国（中華人民共和国）から派遣された部隊であることが読み取れる。国連軍が中国国境に迫ると、中国は人民義勇軍を派遣した。

アジア・太平洋地域でアメリカ合衆国が結成した国際組織は東南アジア条約機構（SEATO）。アメリカ合衆国は、東南アジアにおける共産主義勢力を封じ込めるべく、1954年に東南アジア条約機構（SEATO, South-East Asia Treaty Organization）を結成した。

したがって、 には国連軍、 には人民義勇軍、国際組織には東南アジア条約機構（SEATO）が当てはまるので、②が解答となる。

問 7

正解は④。

空欄  に当てはまるのはチェコスロヴァキア。チェコスロヴァキアでは 1948 年にクーデタが発生し、共産党が政権を握った。

また、チェコスロヴァキアでは、1968年にドブチェクの下で自由化と民主化を進める「プラハの春」が始まったが、ワルシャワ条約機構軍の介入によって頓挫した。

なお、①はポーランド、②はルーマニア、③はフランスに関する記述である。

問 8

正解は⑤。

グラフから読み取れるのは「い」。グラフ中の工業と農林・水利の占める割合を足すと、全体の半分を超えていることが分かる。

ソ連の第 1 次五カ年計画（第 1 次五か年計画）について述べた文として正しいものは Y。スターリンは重工業を重視した第 1 次五カ年計画を強行した。

したがって、い-Y の組み合わせが正しく、⑤が解答となる。



### 第 3 問

#### 解答

---

A

問 1  ③

問 2  ④

問 3  ②

B

問 4  ②

問 5  ③

C

問 6  ①

問 7  ②

## 解説

A

問 1 

正解は③。

会話文から空欄  に当てはまるのはアショーカ王であることが分かる。アショーカ王は第 3 回仏典結集を行った。

①はクシャーナ朝の時代、②・④はグプタ朝の時代の出来事である。

問 2 

正解は④。アイバクはデリーを都として奴隷王朝を開いた。

①はボンベイ、②はカルカッタ、③はアグラである。

問 3 

正解は②。

メモ 1 は誤り。図 1 を見ると、南へ伸びる主要道は途中で途切れており、南端にまでは至っていない。実際に、マウリヤ朝の領域はインド亜大陸南端に及んではない。

メモ 2 は正しい。図 2 の「黄金の四角形」はデリーに加えて、イギリス東インド会社の拠点であったチェンナイ（マドラス）・ムンバイ（ボンベイ）・コルカタ（カルカッタ）を結んでいる。

したがって、メモ 2 のみ正しいため、②が解答となる。

B

問 4 

正解は②。

「あ」について、アメリカ合衆国が債務国から債権国に転じたのは第一次世界大戦後である。

「い」について、武器貸与法が成立したのは、第二次世界大戦中の 1941 年のことである。

「う」について、テネシー川流域開発公社（TVA, Tennessee Valley Authority）が設立されたのは、ニューディールが実施されていた 1933 年のことである。

したがって、あ→う→いの順となるので、②が解答となる。

問 5 

正解は③。

空欄  に当てはまるのは「お」の自動車の普及。T 型フォードに代表されるように、自動車の価格が大幅に下がったことから、1920 年代にはモータリゼーションが一気に進行した。

空欄  に当てはまるのは X。1940 年代後半から 1960 年代後半までのグラフを参照すると、旅客輸送量は低下し続けている一方で、貨物輸送量については、増減はあるものの一定の水準を保っていることが読み取れる。

したがって、おーX の組み合わせが正しく、③が解答となる。

C

問 6

正解は①。

空欄  に当てはまるのは「あ」のドイツ。資料 1 と会話文から、この時締結された同盟は三帝同盟であることが分かる。1873 年にドイツ・オーストリア・ロシアが締結した三帝同盟は 1878 年に一旦失効し、1881 年に復活した。

下線部⑥の理由として正しいのは X。資料 2 から、ナジェージダ＝フォン＝メックは、フランスはロシアと同盟を結ぶべきだと考えていることが分かる。加えて、同資料からは、フランスの新聞『フィガロ』がブルガリアに関するロシアの政策に反対する記事を載せていることに対して、ナジェージダ＝フォン＝メックがいら立っていることが読み取れる。

したがって、あーX の組み合わせが正しく、①が解答となる。

問 7

正解は②。

藤井さんのメモは誤っている。ロシアはクリミア戦争に敗れ、黒海北岸のベッサラビアを失った。

西原さんのメモは正しい。ロシアは 1867 年にアラスカをアメリカ合衆国に売却した。会話文で指摘されているように、ロシアはこの売却で得た資金で鉄道を建設した。さらに、1890 年代に露仏同盟が締結されたことに伴ってフランス資本が導入され、シベリア鉄道の建設が進んだ。

したがって、西原さんのメモのみが正しいため、②が解答となる。

第 4 問

解答

A

問 1  ⑤

問 2  ③

問 3  ③

B

問 4  ①

問 5  ④

問 6  ①

C

問 7  ④

問 8  ③

問 9  ④

## 解説

A

問 1 25

正解は⑤。

空欄「ア」に当てはまるのは、ミラノ勅令でキリスト教を公認したコンスタンティヌス帝である。コンスタンティヌス帝の事績として正しいものは「い」。コンスタンティヌス帝はコロヌスの移動を禁じて徴税を強化しようとした。

公会議について述べた文で正しいものは Y。コンスタンティヌス帝が開催したのはニケーア公会議である。ニケーア公会議では、アタナシウス派が正統とされ、アリウス派が異端とされた。

したがって、い-Y の組み合わせが正しく、⑤が解答となる。

問 2 26

正解は③。イスラーム世界ではセルジューク朝以来、学院（マドラサ）が各地の主要都市に作られるようになった。

①は誤文。ゼロの概念はインドから伝わった。

②は誤文。細密画（ミニアチュール）は中国絵画の影響を受けて発展した。

④は誤文。イクター制を始めたのはブワイフ朝である。

問 3 27

正解は③。アッバース朝は 750 年に成立した。会話文からは、8 世紀後半以降にキリスト教徒がギリシア語の論理学の書物をシリア語に訳し、それらをさらにアラビア語に訳したことが読み取れる。

①は誤文。会話文から、シリア文字が成立したのは 1 世紀頃であることが読み取れる一方、シュメール人が栄えたのは前 3 千年紀なので、時代が異なる。

②は誤文。ジズヤの徴収はイスラーム時代の出来事である一方、パルティアはイスラーム教の成立以前に存在していた王朝なので、時代が異なる。

④は誤文。会話文から、シリア語は 11～13 世紀にも学術分野において用いられたことが読み取れる。ここから、第 1 回十字軍が始まった 1096 年以後もシリア語は学術言語としての地位を保ったことが分かる。

B

問 4 28

正解（誤文）は①。ルターが訳した『新約聖書』はフランス語版ではなく、ドイツ語版である。

- ②は正文。ダンテはトスカナ語で『神曲』を著した。  
③は正文。ギリシア人のプルタルコスがギリシア語で『対比列伝』を著した。  
④は正文。カエサルが著した『ガリア戦記』はラテン文学の傑作とされている。

問 5 29

正解は④。バルトロメウ＝ディアスが喜望峰に到達したのは 1488 年のことであり、コロンブスの航海（1492 年）の前からインド航路開拓のめどが立っていたといえる。

- ①は誤文。ポルトガルは 13 世紀半ばにはレコンキスタを完了している。  
②は誤文。トルデシリャス条約が結ばれたのは 1494 年であり、1492 年のコロンブスの航海の後のことである。  
③は誤文。フェリペ 2 世がポルトガルを併合したのは 1580 年のことであり、コロンブスの航海の後のことである。

問 6 30

正解は①。

思い込みの内容として正しいのは「あ」。コロンブスがスペイン人であると思った根拠として、コロンブスがほとんどの文書をスペイン語で書いていたことが文章から読み取れる。

背景にある価値観として正しいものは X。国民国家では、言語などを共有する均質な国民によって国家が形成されるべきだと考えられた。このため、国民国家が各地で樹立された 19 世紀に、スペイン語を話す人はスペイン人であるという思い込みが広まったと推測できる。

したがって、あ-X の組み合わせが正しく、①が解答となる。

C

問 7 31

正解は④。会話文から空欄 イ の反乱は安史の乱であることが読み取れる。安史の乱はウイグルの援助を受けて鎮圧された。

なお、①・③は黄巢の乱に関する記述である。②の藩鎮は安史の乱の鎮圧後に自立化が進んだ。

問 8 32

正解は③。

空欄 ウ に当てはまるのは「い」の古文。唐後期の文筆家である韓愈（韓退之）は、簡素で力強い古文の復興を唱えた。

空欄 エ に当てはまる文は X。会話文から、韓愈が東晋の書家である王羲之の書を「俗書」と批判していることが読み取れるため、韓愈が貴族的な六朝文化を否定的に捉えていることが分かる。

したがって、い-Xの組み合わせが正しく、③が解答となる。

問 9

33

正解は④。

メモ 1 は誤り。乾隆帝は『四庫全書』を編纂する傍ら、禁書を検索し、文字の獄で思想弾圧を行うなど、漢人に対する思想弾圧を強めた。

メモ 2 は誤り。孝文帝の行った漢化政策は鮮卑の文化を廃して漢人風に改める政策であり、自文化を維持しようとしたものではない。

したがって、メモ 1・2 とともに誤っていることから、④が解答となる。